

平成30年度

12月開講

求職者支援訓練コース案内

【 4-30-45-02-02-0116 】

実践コース

情報処理技術者養成科

定員

15名

受講できる方	※求職者支援訓練を受講できる方は、「ハローワークにおいて訓練が必要であると認められること」等の要件を満たす方です。 ※要件は裏面上部をご確認ください。	対象者の条件	特になし
訓練期間	平成30年12月13日(木)～平成31年6月12日(水)	訓練時間	9:00～15:30
訓練内容	安全衛生、就職支援、基礎理論、コンピュータシステム、プロジェクト・サービスマネジメント、システム・経営戦略、企業と法務、パソコン文書作成基礎演習、パソコン表計算基礎演習、Webクリエイター演習、Java言語基礎演習、Java言語応用演習、情報通信技術演習、システム設計・管理、データベース構築、プレゼンテーション基礎演習、プレゼンテーション応用演習、企業実習、職場見学、職業人講話		
訓練目標	高いIT技術を身に付けることにより、幅広い提案・実行ができる。IT業界で最も求められているJavaプログラミング言語の習得によって、即戦力として活躍できる人材となり、IT関連企業又は企業のIT担当者として就職を目指す。		
訓練修了後に取得できる資格	ITパスポート試験 基本情報技術者試験 Javaプログラミング能力認定試験 2級・3級 Webクリエイター能力認定試験 スタンダード・エキスパート PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 初級・上級 コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門3級 (※すべて任意受験)	就職を想定する職業・職種	システム管理者 社内システムエンジニア 情報セキュリティ技術者
受講者の負担費用	13,878円(テキスト代) ※職場見学、企業実習先への交通費 実費		資格受験費用(任意受験)

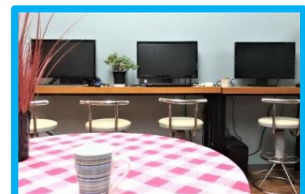
募集期間	平成30年9月20日(木)～平成30年11月19日(月)		
申込書提出先	ライブビジネススクール(下記訓練実施施設に同じ)		
選考方法	面接、筆記試験	選考日	平成30年11月27日(火)
選考時の持ち物	筆記用具	結果通知日	平成30年12月3日(月)
選考場所	ライブビジネススクール(下記訓練実施施設に同じ)		

訓練実施施設	ライブビジネススクール 〒880-0051 宮崎市江平西一丁目2番27号 第3丸三ビル1階 TEL:0985-71-6287 担当:島高、神山		
駐車場の有無台数、料金	有 (台数・料金等) 8台 6,000円/月 (希望者多数の場合は抽選となります)	定期券割学	JR 宮交

【訓練実施場所・選考場所】



※ 随時、見学を実施しています。
お気軽にお越しください(^_^)/



※求職者支援訓練を受講できる方は、下記の全ての要件を満たす方です。

- ① ハローワークに求職の申し込みをしていること
- ② 雇用保険被保険者でないこと
- ③ 労働の意思と能力があること
- ④ ハローワークにおいて訓練が必要であると認められること
(ハローワークで職業相談を受け、現在有する技能、知識等と労働市場の状況から判断して、就職するための職業訓練を受講することが必要と判断されること)

■求職者支援訓練を受講する方は、就職支援措置の実施に当たるハローワーク職員の指導又は指示に従うとともに、自ら進んで、速やかに職業に就くように努めなければなりません。

科目(職業能力開発講習においては項目)	科目の内容(職業能力開発講習においては科目名)				訓練時間		
入校式、オリエンテーション、修了式	入校式(1H)、オリエンテーション(2H)、修了式(3H)						
職業能力開発講習 ビジネステクニク ビジネスヒューマン 就職活動計画 職業生活設計	/						
訓練 科目	安全衛生	安全衛生の必要性、VDT作業の留意点			3時間		
	就職支援	就職について、履歴書・職務経歴書の書き方・ジョブカード概要説明、面接指導			18時間		
	基礎理論	離散数学、応用数学、情報・通信・制御に関する理論、データとデータ構造、アルゴリズム、プログラミング、プログラム言語、マークアップ言語			36時間		
	コンピュータシステム	プロセッサ、記憶装置、補助記憶装置、バス、電子回路の構成部品、入力インターフェイス、入出力装置、システムの構成、評価指標、OS、ミドルウェア、開発支援ツール、ファイル管理、OSS			36時間		
	プロジェクト・サービスマネジメント	プロジェクトマネジメントの目的と考え方・知識エリア、サービスの設計・移行、サービスマネジメントプロセス、サービスの運用、ファシリティマネジメント、システム監査、内部統制			27時間		
	システム・経営戦略	システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ			27時間		
	企業と法務	経営・組織論、OR・IE、会計・財務、知的財産権、情報セキュリティ関連・労働関連・取引関連法規、ガイドライン・技術者倫理・標準化関連			27時間		
	内容 実 技	パソコン文書作成基礎演習	文書の作成、文書の編集			6時間	
パソコン表計算基礎演習		データの入力、表の作成、数式の入力、表の印刷、複数シートの操作、データベースの利用			24時間		
Webクリエイター演習		HTMLの基本、HTMLの記述、CSSの基本、CSSの記述			54時間		
Java言語基礎演習		Javaの基本、変数、式と演算子、場合に依じた処理、配列、クラスの基本			54時間		
Java言語応用演習		クラスの機能・利用、クラス、インターフェイス、例外と入出力処理、スレッド、アプレット			48時間		
情報通信技術演習		ヒューマンインタフェース、マルチメディア、ネットワーク、セキュリティ			48時間		
システム設計・管理		システム開発技術、システム要件定義、開発(プログラミング)、テスト、導入・受入れ支援、運用・保守、ソフトウェア開発管理技術			30時間		
データベース構築		データベースの操作、データベース言語(SQL)			27時間		
プレゼンテーション基礎演習		プレゼンテーションの作成、図形やSmartArtグラフィックの作成、図・クリップアートの挿入、特殊効果の設定			12時間		
プレゼンテーション応用演習		グループワーク、制作、発表			18時間		
企業実習	実施しない	<input checked="" type="checkbox"/> 実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		84時間		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】	職業・勤労観・勤労姿勢を学ぶ 3H			3時間		
	【職業人講話】	Webデザイン、これからのWeb販売、社会生活を円滑にする方法、IT企業の求める人材、ITとは、マーケティングとは、仕事の捉え方、仕事への想い、ITで起業する選択、IT企業で求められるスキル 3H×10回			30時間		
訓練時間総合計	612時間	職業能力開発講習 0時間	ビジネステクニク 0時間	ビジネスヒューマン 0時間	就職活動計画 0時間	職業生活設計 0時間	職場見学等 0時間
		学 科 174時間	実 技 321時間	企業実習 84時間	職場見学等 33時間		
指導 方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する。					
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	テキストや自社作成プリントを使い、受講者が段階的にスキルを身に付け、就職を目指してもらう工夫をしている。					
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	受講者の習得状況を講義毎に確認し、基準に満たない場合は、個別フォローをしていく。また、放課後にも就職相談等に対応できる体制をとっている。					
備 考	授業の開始前に朝礼、終了後に終礼を行います。訓練の一環として、日直および掃除当番等があります。訓練中に実施するキャリアコンサルティングは放課後30分程度行います。(訓練期間中1人3回) 修了後に取得できる資格(任意受験)については、各自が受験した試験に合格することにより取得できます。						

◎訓練受講申し込みまでの手続き

①求職申込み・制度説明 ○ハローワークに求職申込みを行い、求職者支援制度の説明(職業相談)を受けてください。



② 訓練コースの決定 ○上記を含めハローワークでの2回以上の職業相談を経て適切な訓練コースが決まりますので、受講申込書などの必要書類を受け取ってください。(原則、初回の職業相談時においては、受講申込書などの必要書類は受け取れません。)



③ 訓練の受講申込み ○ハローワークの窓口で受講申込みの手続きを行ってください。手続き完了後、受講申込書に受付印が押されます。○その後、ご自身で受講申込書を、募集期間内に申込書提出先に提出してください。(募集期間、申込書提出先は表面をご覧ください。)

※訓練が必要でないとハローワークが判断した場合は、訓練受講申込みは出来ません。

◎ 職業訓練受講給付金について

★職業訓練受講給付金には一定の支給要件があります。支給を希望される方は、求職者支援制度の説明を受ける時にお申し出ください。